

北総鉄道の運賃値下げ率と値下げ例

定期外	定期		合計
	通勤	通学	
▲ 11.6%	▲ 13.8%	▲ 64.7%	▲ 15.4%

※小数点第2位以下四捨五入

例：通学定期運賃 京成高砂～印西牧の原駅間

	現行	改定後	値下げ額
1か月定期	14,990円	⇒ 4,990円	▲ 10,000円
6か月定期	80,950円	⇒ 26,950円	▲ 54,000円

# 北総鉄道 運賃値下げ

## 来年10月 190初乗り円 通学定期64%減

北総鉄道(本社・鎌ヶ谷市、室谷正裕社長)は19日、運賃を来年10月1日から全体で15・4%値下げするたため国交省に変更届け出を行った。特に、通学定期運賃の大幅値下げに踏み切り、64・7%引き下げる。京成高砂―印西牧の原間の1カ月通学定期だと、現行の1

万4990円から改定後には4990円となる。普通運賃も初乗りを210円から190円に引き下げ、通勤定期は13・8%値下げする。同社は「子育て世代の負担軽減となり、若い世代が沿線地域に居る理由付けにつながるべし」と波及効果を期待した。

高運賃が問題になっていたことから、通学定期運賃の大幅値下げと、普通運賃と通勤定期の値下げを決めた。一砂一印西牧の原間の6カ月

値下げ率の特に大きい通学定期では、例えば京成高砂―印西牧の原間の6カ月9時半～午後5時半。

### 「大きな一歩刻んだ」印西市長

北総鉄道の運賃値下げについて、印西市の板倉正直市長は「長年の懸念だった北総線の運賃値下げに大きな一歩を刻んだ」と評価。市が要望してきた通学定期運賃の大幅値下げも実現するとし「子育て世代の一層の増加へ呼び水となる」と値下げ効果に期待した。

### 「若い世代が定住」白井市長

白井市の笠井喜久雄市長は「検討に着手という表明から約5カ月の早期決断に感謝。通学定期の大幅値下げは子育て世代の転入創出や若い世代の定住に大きく寄与する。普通運賃も中距離を中心とした値下げで市民の利便性が高まる」と歓迎した。

### 「全体では期待に遠い」沿線住民団体

約20年間活動している沿線住民団体「北総線の運賃値下げを実現する会」の間嶋博事務局長(76)は「通学定期を京成本線並みに引き下げるなどとは評価できる。しかし、全体として値下げ率が15.4%と、京成本線並み運賃への期待とは程遠い」と受け止めた。会員以外の住民の反応も広く確認していきたい考え。

一層の値下げにつながると指摘する「線路使用料問題の解決も引き続き求めなければ」と強調した。

が、現行の8万950円から5万4千円安い2万6950円になる。普通運賃は「沿線内の移動を促進するため、中距離帯を重点に値下げ(同社)する。切符購入では12〜14円で580円が最大100円安くなる480円に。ICカード利用では105円の値下げとなる。

北総鉄道の運賃値下げを巡っては、9月定例会議会で熊谷俊人知事が「室谷社長から『来年秋ごろ通学定期運賃の大幅な値下げと、普通運賃値下げの方向で検討している』と報告があった」と明かしていた。

### 京成成田空港線も一部で運賃値下げ

京成電鉄(本社・市川市、小林敏也社長)も19日、運賃を来年10月1日から京成成田空港線を値下げするたため国交省に変更届け出を行

った。京成高砂―印西日本医大間で北総鉄道と同一路線を使用するため、足並みをそろえた。

印旛日本医大―成田空港間も値下げするが、他の路線では運賃改定は行わない。問い合わせは、京成お

お客様ダイヤル ☎0570(081)1600 午前9時〜午後6時。